





第3回定例会が開催されるに当たりまして、第2回定例会以降における行政執行の主なものについて、その概要を報告いたします。

令和5年度恵庭市  
総合防災訓練の実  
施について

はじめに、令和5年度恵庭市総合防災訓練について申し上げます。  
震度6強の地震発生を想定した総合防災訓練を、8月26日から27日にかけて市役所や桜町多目的広場などを会場に実施しました。

今回の訓練は全体が3部構成となっており、「市内一斉シェイクアウト訓練」を皮切りに、午前の第1部においては、組織的な災害対応を目的に「職員の非常招集」をはじめ、「災害対策本部訓練」や「自主防災組織等による訓練」を実施しました。「災害対策本部訓練」では、本年度導入した公用スマホなどのICT機器を活用し、災害対策本部のデジタル化を図ったところであります。

また、午後からの第2部では、桜町多目的広場において展示・体験型の訓練を実施し、夜間に実施した第3部では、若草小学校に収容避難所を、柏陽憩いの家に福祉避難所を実際に開設した上で市職員が宿泊し、停電、断水の状況下での避難所運営やペット同伴者の避難所受入れの検証などを行ったところであります。

以上が総合防災訓練の概要であります。当日は、防災関係機関や自主防災組織との相互連携のもと多くの方に参加いただきました。今後は、訓練結果について検証を進め、更なる地域防災力の向上に取り組んで参ります。

自衛隊の体制維持・  
強化について

次に、自衛隊の体制維持・強化について申し上げます。

本市では、駐屯地や隊員の存在が、市民の安全・安心や地域コミュニティの維持・活性化などのまちづくりに極めて重要であることから、市内3個駐屯地の拡充や自衛隊員の増強について活動を進めております。

本年は、5月から7月にかけて北海道防衛局をはじめ、陸上自衛隊

北部方面総監部、陸上自衛隊第7師団、防衛省などに対して、市議会とともに要望活動に取り組んだほか、「北海道自衛隊駐屯地等連絡協議会」と連携し、防衛省などへの要望活動を行ったところであります。

また、7月には「自衛隊の体制維持・強化を求める恵庭市民の会」として、市議会議長をはじめ、北海道議会議員、市議会防衛議員連盟並びに隊友会恵庭支部等と共に政府並びに国会議員に対して要望活動を行いました。

今後も国の動向を注視しながら、積極的に自衛隊の体制維持・強化に取り組んで参ります。

国際姉妹都市ニュージーランド・ティマル市副市長の来恵について

次に、国際姉妹都市ニュージーランド・ティマル市副市長の来恵について申し上げます。

恵庭ニュージーランド協会が行う青少年国際交流派遣事業でティマル市から派遣される高校生の随行として、6月23日から6月29日までの7日間、ティマル市副市長スコット・シャノン氏が来恵されました。

花とくらし展の開会式への出席をはじめ、本市の施設や恵み野のオープンガーデンなどを視察していただきました。また、和光小学校での授業にも参加し、児童との交流を図ったほか、市議会国際交流議員連盟やニュージーランド協会の皆様とも交流を深めたところであります。

今回の交流は、これからの両市の関係をますます深めるものになると考えており、今後も友好関係をより強固なものとするべく、取り組んで参ります。

北海道文教大学地域創造研究センター設立記念フォーラムについて

次に、北海道文教大学地域創造研究センター設立記念フォーラムについて申し上げます。

8月5日に北海道文教大学において「地域創造研究センター設立記念フォーラム」が開催されました。フォーラムでは小磯修二センター長の

基調報告、北海道大学の山崎幹根教授と目白大学の西大津律子教授の基調講演を行った後、センターが目指す活動や方向性、課題等について、北海道文教大学の渡部俊弘学長と私を交え、パネルディスカッションを行い、恵庭の今後のまちづくりに対する貴重なご示唆をいただきました。

当日は市民並びに関係者約70人の参加があり、恵庭へのスタディツアーの実施などこれからのまちづくりへの展望、その中で大学と地域の関わりや官と民が連携して進めて行くことの重要性等を市民と共有する意義深いものとなったところであります。

今後もセンターと連携し、政策研究を支援して参ります。

新型コロナウイルス  
ワクチン接種に  
ついて

次に、新型コロナウイルスワクチン接種について申し上げます。

本年5月8日から「令和5年春開始接種」の実施を取り進め、8月末現在の65歳以上の接種状況は、59.04パーセントとなっております。

また、9月20日から、初回接種を完了した方を対象とした「令和5年秋開始接種」を開始する予定であり、本市では、8月21日より、対象者へ段階的に接種券を送付し、順次接種予約を受け付けているところがあります。

今後も、国の方針に基づき、希望する方へ円滑に接種が実施できるよう取り組んで参ります。

令和5年度全国高  
等学校総合体育大  
会空手道競技大会  
について

次に、令和5年度全国高等学校総合体育大会空手道競技大会について申し上げます。

7月26日から29日までを期間として開催いたしました本大会には、全国47都道府県から、187校、890名の選手が集い、会場が一体となる大声援のもと、熱戦が繰り広げられました。

期間中は連日30度を超える厳しい暑さの中、道内外の高校教職員

及び道内11校の高校生のほか、空手道競技関係団体の皆様に競技運営を担っていただき、無事閉幕を迎えることができました。

大会では、組手競技、男子個人種目において、恵庭南高校2年、長沼冬和（ながぬま とわ）選手が北海道勢初の第3位に入賞する快挙がありました。

国内最大規模の高校生スポーツの祭典である「インターハイ空手道競技大会」が無事終了できましたことは、ひとえに市民の皆様や多くの企業、団体の方々のご協力の賜物であり、関わっていただきました全ての皆様に対しまして、心から感謝申し上げます。

恵庭市電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金について

次に、恵庭市電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金について申し上げます。

本給付金は、物価高騰の負担感が大きい低所得世帯の負担軽減を目的に支給するもので、住民税非課税世帯1世帯当たり3万円を給付いたします。7月31日、対象となるおよそ9千世帯に確認書を送付し、8月31日までに4,234世帯に支給したところであります。

また、均等割のみの課税世帯には、北海道からの同様の給付金1万2千円を合わせた3万円、所得割1万円以下の課税世帯には、2万円の給付金を支給することとし、対象のおよそ2,200世帯には8月18日に確認書を送付したところであり、随時支給を行って参ります。

農業振興について

次に、農業振興について申し上げます。

今年の作況についてであります。平均気温は平年を上回り、作物の生育及び農作業は例年より早く進んでおります。

小麦については8月上旬に刈り取りが終了し、9月中旬まで乾燥調製を行っており、水稻については、9月上旬から収穫が行われ9月下旬には終わる見込みであります。

物価高騰に係る経済対策について

次に、物価高騰に係る経済対策について申し上げます。

光熱費等の物価高騰の影響を受けた生活者に対する支援を目的として、全市民を対象に1人当たり2,000円分の商品券を配布し、特定店舗で利用した場合は最大で2,400円分を利用できる「えにお応援商品券」事業を実施いたします。

現在、配布に向けた準備を進めているところであり、市民の皆さまには商品券を10月上旬から順次郵送し、10月末までには対象全世帯へ郵送を終える予定となっております。

商品券は来年3月31日まで取扱店舗において利用できますので、多くの市民の皆さまにご利用いただきたいと考えております。

また、本年8月1日から12月31日までに転入や出生等された方に対する商品券については、来年1月より郵送する予定となっております。

北海道における次世代半導体プロジェクトへの本市の対応について

次に、北海道における次世代半導体プロジェクトへの本市の対応について申し上げます。

7月5日から7日までの間、台湾資本の半導体工場の建設が進む熊本県内の5つの自治体を本市の職員が視察し、これまでの取組状況などを伺ってきたところであります。

また、市内商工業者との意見交換の場として、8月9日に商工会議所議員会が開催したセミナーにおいて、熊本県内を視察した経済部職員が報告を行ったところであります。

今後は、国家プロジェクトともいわれるラピダスの進出による本市への影響に対応するため、今回の熊本県内の視察内容を参考にして参ります。

「恵庭市花と緑の記念日」事業の実施

次に、「恵庭市花と緑の記念日」事業の実施等について申し上げます。

本年6月24日から9日間に拡大して、花の拠点「はなふる」を会場

について

に、第34回恵庭花とくらし展が開催されました。約7万人の来場のもと、花の装飾やステージイベントのほか、オープンガーデンバスツアーやワークショップなど市民参加による賑わいの創出を図ったところがあります。

また、7月13日の「恵庭市花と緑の記念日」には、エゾヤマザクラの記念植樹や市内小学生による記念日制定宣言等の制定セレモニーと記念日コンサートを実施し、これまでの「花のまちづくりの取組」を再認識し、これからも継承していくことを改めて確認しました。

更に、公益財団法人都市緑化機構と包括連携協定を締結し、都市緑化や花と緑のまちづくりの推進に向け連携することを確認しました。

地域の夏祭り事業  
について

次に、地域の夏祭り事業について申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことに伴い、本年度より、地域の特色のある夏祭りが再開され、多くの方々が楽しく参加されました。

7月30日の恵み野夏祭りを皮切りに、8月6日には「しままつ鳴子まつり」と「恵庭よさこいソーランわくわくフェスティバル」との連携開催のほか、島松駅前では盆踊りが開催されております。

8月11日には、恵庭駅通夏祭りとは恵庭マルシェとの合同開催、8月19日には、花の拠点「はなふる」を会場にYEGフェスティバル、8月20日には、桜町多目的広場にて、各種イベントや約3,000発の「恵庭三四会納涼花火大会」、「JA道央フェア」など、数年ぶりに新型コロナウイルスの制限の無い活気ある夏祭りにより、まちに賑わいが戻りました。今後も、継続して各種イベントを推進して参りたいと考えております。

恵庭かわまちづく

最後に、恵庭かわまちづくり全建賞の受賞について申し上げます。



り全建賞の受賞に  
ついて

恵庭かわまちづくり事業につきましては、平成29年度より、花の拠点「はなふる」の都市公園整備や隣接する漁川の環境整備、民間事業者による住宅団地整備など、当該地区の環境整備を実施してきたところでありますが、この度、恵庭市と札幌開発建設部との事業連携や地域活性化が評価され、一般社団法人全日本建設技術協会から「令和4年度全建賞」を受賞しました。

また、「はなふる」に隣接する河川空間においては、オープンスペースの利活用を目的として、6月12日に恵庭市が河川管理者に申請していた「都市・地域再生等計画」が許可され、今後は河川空間を活用したレクリエーションの場の創出を図って参ります。

以上、第2回定例会以降における行政執行の主なものについて、その概要を報告いたしました。

なお、本議会に提案している議案等については、それぞれ上程の都度説明させていただきますので、よろしくご審議をいただき、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。